

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語表現
科目基礎情報						
科目番号	2A10		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	Side by Side Extra Level 2: Streven J. Kolinsky, Bill Bliss (Pearson ESL), Side by Side Extra Level 2 Activity Workbook: Streven J. Kolinsky, Bill Bliss (Pearson ESL)					
担当教員	上江 憲治					
到達目標						
・聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 ・明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 ・日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 ・日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 ・実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
既習語彙の定着と新出単語の習得	全てできる		ほぼできる		できない	
英文構造の理解能力	全て理解できる		ほぼ理解できる		理解できない	
基本の文法構造を応用してあてはめ、場面に応じた表現を行う力	十分にできる		ほぼできる		できない	
音読能力	流暢に正しくできる		正しくできる		できない	
リスニング能力	全ての内容を聞き取って理解できる		流れを聞き取って理解できる		聞き取ることができない	
学科の到達目標項目との関係						
教養 C1 教養 C2 教養 D2						
教育方法等						
概要	ライティングや音読のパターンプラクティス、ペアワークを通してその定着を目指す中で、日常生活に必要な語彙や会話表現を身につける。また、基本的な語彙の意味や文法構造を理解し、英文を正確に読む力と、会話を聞き取る力をつけることを目標とする。					
授業の進め方・方法	1 コマの中で、テキストを用いた会話練習とワークブックを用いたライティング練習を相互に行う。					
注意点	辞典を持参すること。 提出物は期限厳守のこと。					
実務経験のある教員による授業科目						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 現在形、過去形、未来を表す表現についての復習		授業方針を理解する。 既習の時制について理解し、適切に運用できる。	
		2週	Time Expressions, Indirect Object Pronouns		未来を表す表現について理解し、適切に運用できる。	
		3週	Count/ Non Count Nouns		可算・不可算名詞について理解し、適切に運用できる。	
		4週	Describing Preferences		可算・不可算名詞を適切に運用する事ができる。	
		5週	Partitives		好きな食べ物についてやりとりすることができる。	
		6週	Imperatives		好きな食べ物についてやりとりすることができる。	
		7週	Buying and Decribing food		料理の値段やおすそめを尋ねることができる。 料理の説明をしたり、レシピを書くことができる。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	Future Tense: Will		willや未来を表す表現を理解し、文を作ることができる。	
		10週	Future Time Expressions		willや未来を表す表現を理解し、文を作ることができる。	
		11週	Might Phrases		起こりそうな事柄について、mightを使って文章を作ることができる。	
		12週	Comparatives Should - Advice		比較級を理解し、適切に運用できる。 shouldを使って、アドバイスしたり、忠告する文を作ることができる。	
		13週	Positive Pronouns		形容詞を適切に使用し、物を説明・比較することができる。	
		14週	Superlatives		形容詞を適切に使用し、人、場所、物について説明できる。	
		15週	Superlatives		比較級・最上級を用いて、自分の意見を言うことができる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	Directions		道案内に関わる表現を理解し、道順を尋ねたり、道案内をすることができる。	
		2週	Adverbs		副詞を適切に使用し、人の行動について説明することができる。	

		3週	Comparatives of Adverbs	計画や意図について説明することができる。
		4週	Agent Nouns	計画や意図について説明することができる。
		5週	If- Clauses	If節を適切に使用し、文を作ることができる。
		6週	Past Continuous/ Reflective	過去進行形を適切に使用し、文を作ることができる。
		7週	While - Clauses	過去進行形を用いて、過去の出来事について適切に描写することができる。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	Could Phrases/ Be able to...	過去や未来における能力について表現することができる。
		10週	Have to... / Got to.../ Too + Adjectives	過去や未来における能力について表現することができる。
		11週	Must/Mustn't -Don't have to/ Must- Should	義務に関わる表現を用いて、健康に関わるアドバイスをすることができる。
		12週	Future Continuous Tense	未来進行形を用いてやりとりすることができる。
		13週	Time Expressions	未来進行形を用いてやりとりすることができる。
		14週	Some/ Any	代名詞を適切な形で用いることができる。
		15週	Pronoun & Verb Tense Review	代名詞、時制を適切に用いて、文を作ることができる。
		16週		

評価割合

	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果物・実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	30	10	0	0	100
知識の基本的な理解	50	0	0	10	10	0	0	70
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	0	0	0
汎用的技能	10	0	0	0	0	0	0	10
リーダーシップ・コミュニケーション力	0	0	0	20	0	0	0	20
態度・指向性（人間力）	0	0	0	0	0	0	0	0